

AI JCR人工知能診療委員会の発足および 皆様へのお願いについて

JCR人工知能診療委員会
委員長 渡邊嘉之 (滋賀医科大学)

今や人工知能 (AI) は日常生活のあらゆるところに広がりつつあり、放射線診断・治療においても研究段階から臨床使用可能な製品が複数発売される実用段階に移行しています。我々放射線科医にとって、医療AIとの向き合い方は、我々自身のみならず次世代の放射線科医の立場を左右する重要な問題です。JCR理事会では、医療AIにまつわる薬事承認や保険収載に関する諸問題を、放射線科医がイニシアチブを取って解決していくべき最重要課題の1つと位置づけ、JCR理事会の内部に人工知能診療委員会を令和3年7月に立ち上げました。画像診断関連ではすでに、日本医学放射線学会人工知能委員会 (陣崎雅弘委員長：慶応義塾大学) がガイドラインの作成を中心に、内保連・外保連合同人工知能診療検討委員会 (井田正博座長：水戸医療センター) が診療報酬のあり方を目的として活動していますが、本委員会は、これら日本医学放射線学会、内保連・外保連の活動を補完する形で、さらにAI開発状況や諸外国での現状などについての迅速な情報収集および、実際に臨床で使用したときの診療現場における問題点の把握とその実践的な解決を目的としています。

さて、本委員会の最初のタスクとして、放射線科関連AI製品の名称や機能を整理した一覧表を作成して参ります。今後、各医療機関が大型機器更新の際に一括でAI製品を新規導入する機会が多くなってくると思われますが、複数の製品を比較検討するためにはこうしたリストが必要になってくると考えられます。米国ではこのリストがwebsite等で公開されていますが、日本国内ではPMDAのサイトに一部掲載されているものの、使用しやすい形でまとめられているとは言えません。

そこで、JCR会員の皆様にごお願いがございます。放射線科関連で、新たなAI製品をご存知の先生がおられましたら、JCR人工知能診療委員会 (office@jcr.or.jp) までご一報いただければ幸いです。メールの件名は「人工知能技術を利用した製品情報について」でお願いします。皆様からの情報を集約して、定期的に最新版のリストを公開して参ります。また、放射線科関連AIに関するご意見、要望などありましたらご連絡下さい。我々の活動は日本放射線科専門医会・医会のホームページ上でも紹介していく予定ですので、ご参照下さい。我々放射線科医が使いやすいAIソフトの発展、普及のために皆様のご協力を心からお願い申し上げます。